

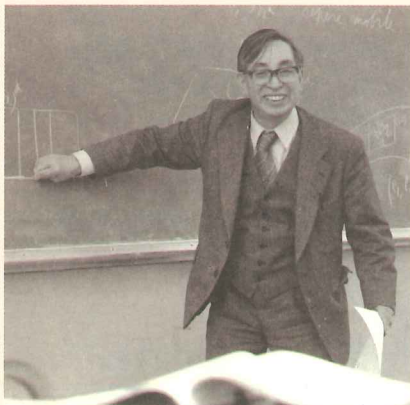
学習院大学史料館 ミュージアム・レター

Gakushuin University Museum of History Museum Letter No.27

発行日 ● 平成26年(2014)10月14日

もくじ

ごあいさつ.....	1
伊藤 清先生と学習院大学.....	2・3
学習院大学史料館からのお知らせ.....	4
◎ミニ展示「伊藤 清—確率解析の父—」	
◎第75回学習院大学史料館講座	
江戸城への「御肴」上納のしくみ—白魚・鮎・鯛を中心に—	



伊藤 清先生 米国コーネル大学にて
昭和50年(1975) (C)京都大学数理解析研究所



文化勲章メダル
平成20年(2008)

ごあいさつ

史料館はこのたび、数学科中島匠一教授のご紹介により、ガウス賞受賞者伊藤 清先生の偉業を示す貴重な資料を伊藤家から寄贈していただきました。

伊藤先生は、現在の高度な金融取引を支える数学理論を確立し、ウォール街で「最も知名度の高い日本の学者」と言われるほど、我々の経済社会に貢献された世界的数学者です。また、先生は、本学数学科教授として在職されました。

今回の「伊藤 清—確率解析の父—」展では、伊藤先生に贈られたガウス賞をはじめとする数々の賞の中から、受賞メダル、勲章、賞状などを展示します。実物を間近に見ることができるまたとない機会ですので、是非ご覧いただきたいと思えます。本展を通じて、伊藤先生の偉大な業績と確率論と共に歩まれた生涯に思いを馳せていただければ幸いです。

最後になりましたが、この展示の開催にご尽力、ご協力いただきました関係各位に心よりお礼を申し上げます。

(館長 和光 純)

史料館の数学関係資料群のご紹介

史料館は、江戸時代の古文書や近代の皇族・華族の資料、学習院関係者の資料、文学、哲学関係資料など、多彩な資料を収蔵していますが、その中には数学者関係の資料もあります。これまでに当館では、学習院大学で教鞭を執っていた数学者の彌永昌吉(1967～77在任)、小平邦彦(1975～85在任)両先生の蔵書や書簡、研究メモ、写真類などを寄贈していただき、整理を進めてまいりました。そしてこのたび、伊藤 清先生(1979～85在任)の資料が新たに加わりました。

彌永先生(1906～2006)は、代数学、整数論をご専門とし、日本の数学界の基礎を築いた人物です。昭和10年(1935)に東京(帝国)大学助教授に着任後、伊藤先生や小平先生をはじめ多くの優れた数学者を育てました。寄贈された書簡資料からは、英語、ドイツ語、フランス語など多くの外国語を操り、欧米諸国との交流に尽力したことが窺えます(『学習院大学史料館紀要』第16～20号参照)。昭和51年(1976)に勲二等旭日重光章を授与され、同53年(1978)には学士院会員に選出されています。

小平先生(1915～1997)は、昭和29年(1954)に複素解析多様体論の研究で、数学界のノーベル賞といわれるフィールズ賞を日本人として初めて受賞するなど20世紀を代表する学者です。昭和24年(1949)、プリンストン高等研究所に招聘された後、長く海外で研究を続け、代数幾何学の分野で数々の功績を残しました。

伊藤先生(1915～2008)は、日本の確率論研究の先駆者の一人で、確率解析の父と呼ばれています。平成18年(2006)の国際数学者会議(ICM)で第1回ガウス賞を受賞したことをはじめ、多くの輝かしい賞を受賞されました。

今回、伊藤先生の資料の寄贈を受け、史料館の数学関係資料群はより充実したものになりました。奇しくも平成27年(2015)は伊藤先生と小平先生の生誕百周年の記念の年にもあたります。今後の当館からの発信が日本の数学界を支えてきた偉大な数学者たちの足跡をたどる一助になれば幸いです。

(学芸員 富田ゆり)